

言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った  
社会科の授業実践例

庄原市立東城中学校

- 1 学年・単元名 第2学年 人口から見た日本
- 2 本時の目標 世界と日本の人口分布とその偏りを知り，世界から見た日本の人口分布の特徴を考える。
- 3 本時の工夫点 地図や人口分布図等から情報を的確に分析し，必要な情報を取り出してまとめさせる。  
世界と日本の人口分布の特徴を視点を明確にして整理させる。

4 学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準(評価方法)
<p>1 世界の人口と日本の人口の数字をあげ，その多さについて考える。</p> <p>2 人口密度の高い地域・低い地域をあげる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>世界と日本の人口分布とその偏りを知り，世界から見た日本の人口分布の特徴を考えよう。</p> </div> <p>3 人口分布と気候や地形の関係を考える。</p> <p>4 世界から見た日本の人口分布を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめインターネットなどで授業日の正確な世界の人口を調べておく。</li> <li>・世界の人口分布には偏りがあることを理解させる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>情報をもとに的確に分析する技術 人口分布と気候の視点で関連性を分析させる。</p> </div> <p>(例) 温帯の平野部以外に，熱帯・乾燥帯でも，環境によっては人口集中地域がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は人口が多く，人口密度も高い地域であることを理解させる。</li> <li>・日本の人口分布にも偏りがあることを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の地図との比較から，世界の人口分布と気候・地形との関連性を読み取っている。(ノート)</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>5 人口密度の高い地域と低い地域の分布の特徴を考える。</p> </div> <p>6 自分たちが住んでいる広島県は，日本の人口分布の中でどのように位置付けられるのかを考える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>情報を正しく伝える技術 世界と日本の人口分布の特徴を整理して書かせる。</p> </div> <p>(例) 三大都市圏や地方の都市圏に人口が集中している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南部の沿岸部では緩やかな速度での人口集中，北部の中山間部においては急激な過疎化が進んでいることを理解させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口密度の地図から，世界と日本の人口密度の高い地域と低い地域の分布の特徴を理解している。(ノート)</li> </ul>